

平成22年度技術士第二次試験問題〔水産部門〕

選択科目【14-4】水産水域環境

1時30分～5時

I 次の2問題（I-1，I-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

I-1 水産水域環境の視点から生物多様性を保全することの必要性について例を挙げて述べよ。また、水域における生物多様性保全に関し、今後の取り組むべき課題を抽出し、技術的観点からその対応策についてあなたの考えを述べよ。（問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

I-2 次の5設問のうち3設問を選んで解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

I-2-1 エスチュアリー循環の概要を述べ、その水域に成立する生態系あるいは生物相の特性について述べよ。

I-2-2 人工衛星やデータロガー等を利用した近年の環境モニタリング技術について例を挙げてその概要を説明し、水産水域環境保全への応用と、その将来展望について述べよ。

I-2-3 閉鎖性海域において、富栄養化に関するモニタリングを行う場合の観測すべき項目、調査の留意点、評価の方法について述べよ。

I-2-4 海域における油汚染対応策について現状と課題を述べよ。

I-2-5 沿岸域の各種開発が水域環境に与える影響を定量的に予測評価する手法を例を挙げて説明せよ。